

令和5年度 刈谷市 共存・協働のまちづくり推進委員会 第2回夢ファンド部会 記録

日時：令和5年11月13日（月）

午後2時～午後4時

場所：刈谷市役所 604会議室

出席者

団体名・役職等	氏名
愛知淑徳大学 助教	熊澤 友紀子
刈谷市商店街連盟 専務理事	柘植 祥史
刈谷市ボランティア連絡協議会 会長	矢田部 寿子
一般公募	石田 彰宏
刈谷市民ボランティア活動センター センター長	米田 正寛

欠席者

団体名・役職等	氏名
刈谷市女性の会連絡協議会 会計	加藤 文子
NPO 法人刈谷おもちゃ病院 理事長	三輪 恒雄
防災ママかきつばた 代表	高木 一恵

事務局

所属	補職名	氏名
市民活動部市民協働課	協働推進監兼市民協働課長	渡部 貴美子
市民活動部市民協働課	課長補佐兼協働推進係長	小原 崇照
市民活動部市民協働課	主事	内藤 佑佳
市民活動部市民協働課	主事	前川 和奏
NPO法人ボランタリーネイバース	副理事長・調査研究部長	三島 知斗世
NPO法人ボランタリーネイバース	理事・事務局長	遠山 涼子

1 開会・あいさつ

- (1) 定刻にて開会が宣され、資料確認の後、部会長の進行に移った。
- (2) 部会長あいさつ

2. 議題

(1) かりや夢ファンド補助金公開審査会について

■資料1、2、募集要項を提示し、公開審査会の進行について事務局が説明 (公開審査会)

- ・1月13日（土）13時～16時20分までの予定で刈谷市民ボランティア活動センター（以下、ボラセン）にて開催。審議は刈谷市社会教育センター502 実習室にて行う。

(応募状況)

- 7月18日(火)～9月29日(金)を募集期間とし、NPO法人設立支援事業は1件、まちづくり活動支援事業は5件の申請があった。うち3件は申請見込金額5万円以下のため、公開審査会の出席は不要。書類のみで採点を行い、公開審査会当日採否を決定する。

■質問・意見交換

委員：申請団体の紹介資料はロビーに掲示を予定するか。昨年度1団体の提出が遅れていたが、できれば一緒に出していただけるとよい。

事務局：公開審査会の1週間前、1月6日(土)から12日(金)まで、社会教育センター1階ロビーに提案内容の紹介を展示する。昨年度は当初展示を辞退していた団体から、他団体の展示を見て追加希望があり、その提出が遅れた。今年度の申請団体には年末までに提出を依頼する。

(2)申請書類の確認について

【資料3-1、3-2申請書、募集要項】に基づき事務局より説明を行った後、事前質問に向けた意見交換を行った。

- まちづくり活動支援事業の趣旨は、市民団体などが、「継続」して「自主的に」行う「公益的な」まちづくり活動の手助けとなるように支援するものである。「1団体につき原則2回まで」であるが、事業内容が明らかに異なる場合に限り、3回目の申請を受け付ける。
- まちづくり活動支援事業は、申請5件、申請金額536,000円、昨年度に比べ、申請額は若干減少した。理由として5万円以下の事業申請が3件と過半数を占めたことによる。
- NPO法人設立支援事業は、昨年度に続き2回目の申請となる1件、50,000円の申請であった。
- 本日の質問・意見を取りまとめ、公開審査会出席団体は、その内容を踏まえてプレゼンテーションを行い、5万円以下の団体は、公開審査会までに回答の提出を求める。

■意見交換を受けて、質疑内容を以下の通り確認した。

■まちづくり活動支援事業

団体名	事業名	質問等	※【】内は事務局から回答、□内は委員所感
SUHARA MUSIC FES 実行委員会	第5回 SUHARA MUSIC FES	<ul style="list-style-type: none">今回予定している事業の規模感(参加団体数、参加者数、内容、広報の方法など)についてご説明ください。 【R5年度実績：5月7日終日、出場者150人、来場者1500人】“若手音楽家”はどのように集めましたか。また地元とどのようなつながりのある方ですか。 【R5年度実績：愛教大学生多数、小学校金管バンド、高須ギター合奏団、おやしバンド等】事業目的の達成には時間がかかりますが、補助金終了後どのように継続しますか。地元の人に多く出演してもらうなどのお金がかからない工夫や、収入を得るための考えをお聞かせください。 【R5年度12企業協賛】イベントの認知度は高まりましたか。北部以外にも伝わる広報の工夫を考えていたら、お聞かせください。SNSの活用などどのように工夫をされますか。	
手品会	マジックシ ョー「マスカ レードパレ ス」	<ul style="list-style-type: none">過去5回のイベントは、協力者とどのような関係を作って取り組まれましたか。これまでの開催実績についてご紹介ください。 【家族以外6組の出演者有】事業を実施する際の申請団体内(会員4人)の具体的役割をご説明くだ	

		<p>さい。</p> <p>【企画運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートパソコンを購入した場合、イベント終了後はどのように使用するかご説明ください。 ・自己資金はどの支出項目に充当されますか。また、自己資金の内訳をご説明ください。 ・マジックショーを開催することで、刈谷のまちづくりにどのような効果をもたらせると考えますか。 ・仮装について（①仮装していなくても参加できますか、②（仮装していない場合）仮装グッズの用意等はされますか、③参加者への周知はどのように行いますか）。 ・会則に則り、団体運営の基本的な考えについて、ご説明ください。 <p>【会費 100 円、とある】</p>
circulation_beans コーヒーかすの再利用活動 〔申請額 5 万円以下のためプレゼン審査なし〕	circulation_beans コーヒー豆のかすから“うまれる・つながる・循環する”まちのみんなのコミュニティガーデン事業	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティガーデン事業から派生した様々な取組が、①今回申請された来年度事業の目的にどのように結びつくか（短期的）、また、②団体の目的にどのように結びつくか（長期的）ご説明ください。 〔拡散している印象なので、軸があるとよいのではと思いますが、いかがでしょうか〕 ・会員（役員）は 2 人ですが、今後の体制はどのように考えていますか。
アジア子ども美術協会 〔申請額 5 万円以下のためプレゼン審査なし〕	アートと共生社会を紡ぐ～子ども KARIYA 場 (BA) ～	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の拠点は市外ですが、刈谷で事業展開していくために、どのように運営を工夫されますか。 ・WAFCA（アジア車いす交流センター）とはどのような関係ですか。経緯もふくめてご説明ください。
ふれあい泉田朝市会 〔申請額 5 万円以下のためプレゼン審査なし〕	ふれあい泉田朝市（こどもイベント）	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金終了後、地域の協力をどのように引き出して、継続されていきますか。売上によって事業を支えることは可能でしょうか。R7 年度以降の展望をお聞かせください。

■NPO 法人設立支援事業

団体名	質問等	※ 【】 内は事務局から回答、□ 内は委員所感
NPO 法人幸縁（しえん）	<ul style="list-style-type: none"> ・R5 年度の取組を通じて、刈谷の関係者と関わりを生み出すことにつながった工夫や教訓などをお聞かせください。 ・高校へも活動を広げる考えはありますか。 ・パンフレットをどのように使って、認知や事業の発展に取り組まれますか。 <p>【市内でのイベント開催時に手渡ししたいニーズがある】</p>	

1) SUHARA MUSIC FES 実行委員会「第 5 回 SUHARA MUSIC FES」

委員：昨年度の来場者数、イベントの開催時間は？

事務局：来場者 1500 名、出演者 150 名。10 時～16 時まで 1 日のプログラムである。NPO 法人 幸縁、元気な一ツ木まちづくり隊が参加するなど、R4 年度に夢ファンドに採択された団体（R5 年度活動団体）と連携して取り組まれている。

部会長：若手音楽家と地元とのつながりについて、どのような方が出演しているか。

事務局：令和 5 年度は、愛知教育大学サークル、富士松北小金管バンド部、刈谷ロータリークラブバンド、高須ギター合奏団、刈谷市音楽協会、地元のジャズメンバー、おやしバンド等市内外から参加があった。

委員：短期間で達成が難しい事業目的である。補助金終了後、自己資金や企業等による協賛金など、財源確保をどうするか。将来に向けた方策をプレゼンの中で聞かせていただきたい。

部会長：今回申請のあった来年度事業については自己資金の用途はあるか。

事務局：企業協賛の用途があるようだ。今年度実施時は 12 企業から協賛を受けていた。

委員：会場使用料が高く、費用のうち占める割合が高い。

事務局：北部生涯学習センター全館と、キッチンカー設置のため駐車場も含めて貸し切りとなる。

委員：来賓接待用お茶菓子は必要だろうか。継続にむけた収入の確保は必要である。

部会長：長期にわたって人材育成に取り組む事業。次年度からいかに予算を確保し継続するかを柱に質問すると見通しを立てやすい。

委員：イベントは一般の方に広まっているのか。

委員：北部で認知度はあっても、南部ではどうか。

部会長：印刷製本費 25 万円について、内訳にチラシ、ポスターと広報に関する費用が計上されているが、SNS の活用など広く市民へ向けた広報手段も検討いただけるとよい。

委員：駅のポスターで市全域の活動情報を把握できる。印刷製本費に関連して、「会場サイン」とは何か？来たいと思えるイベントにしてほしい。

委員：館内の案内表示である。北部だけでなく、中部・南部への情報展開を工夫していただきたい。

部会長：2 回目の団体は昨年度の実績から報告していただきたい。

2) 手品会「マジックショー『マスカレードパレス』」

委員：会員は全員家族なのか。

事務局：2 組の世帯である。要項の規定に反するものではないが、同一の親族のみでの構成は望ましくないため、来年度の募集においては募集のルール改正を検討したい。

委員：協働する予定の団体とある「愛教大」のサークルと連携した広がりを期待したい。

部会長：これまでの実績も含めた自己紹介していただきたい。

委員：家族でマジックショーを行っているとしたら、他のメンバーは出演しにくい。

事務局：他 6 名に出演料を払ってショーに出演してもらい、総勢 25 名が出演する。4 名の会員が企画運営を担うとあるが、ショーに出演するかどうかは未確認であるため確認いただけるとよい。

部会長：入場料 4 千円は高額である。備品として購入するパソコンのイベント終了後の活用方法を確認したい。助成金で資産となる備品の購入は難しい場合が多い。説明次第では予算から除くことも検討したい。

事務局：備品購入に充当する収入源を「自己資金」と仮定する場合、助成対象から除くと解りやすい。

部会長：自己資金の内訳についても、協賛金などの別を説明いただけるとよい。

委員：ハロウィンにあわせて仮装とあるが、参加者も仮装しなければいけないか。仮装は強制ではないかもしれないが、参加者の周知はどのようにするのか。

委員：会場に仮装グッズを用意して、来場者がその場で仮装できる工夫があると面白い。

委員：会員4名、年会費100円、役員任期1年で再任は妨げないとあるが、どのように運営しているか、細かな点が分からない。事業収益から謝礼金を賄っており、概ね出演料である。

部会長：チケット収益で出演者を有料で招くイベントに、市民が意義を見出せるか。刈谷市民がマジックに触れる機会はないのか。

委員：刈谷マジッククラブという団体が毎年イベントを開催している。

3) circulation_beans コーヒーかすの再利用活動

「circulation_beans コーヒー豆のかすから“うまれる・つながる・循環する”まちのみんなのコミュニティガーデン事業」

・プレゼンなし。

委員：市民だよりに紹介されていた。活動の広がりが感じられる。

事務局：KATCHが中長期のドキュメンタリーを撮影している。今年春から、コーヒーかすを再利用して作物を栽培しており、収穫した蓼藍（たであい）を粉末にしたものをパン屋・焼き菓子店と協働して製品販売している。

委員：大手公園のマルシェで一緒している。今年度事業はファンドレポートの取材予定がある。いこいプレイスとはどのような組織か。

事務局：下重原町にある就労継続支援B型事業所である。

部会長：コーヒーかすを利用した堆肥による作物づくりが中心であるが、その他の取組がたくさんあり、共感して仲間が集まっている状況が、かえって全体をわかりづらくしている。声がかかったところと派生してばかりでは、全体として何をやっているのか伝わりにくい。団体としての取組は的を絞るなど今回のコーヒーかすの再利用に関して重点的に説明があるとよい。染物や洋服の販売へと広がっているが、今回のコーヒーかすの再利用とのつながりを明確に説明いただきたい。ワールド・スマイル・ガーデンの事例のように“ワールドデンを中心に住民が集まる”といった軸があると、今後展開しやすいのではないか。役員が2名であることは問題ないか。

事務局：要項の規定上、問題はない。

4) アジア子ども美術協会「アートと共生社会を紡ぐ～子ども KARIYA 場 (BA)～」

・プレゼンなし。

委員：常設展示場所は確定しているか。

事務局：確定しており、既に関催実績もある。

部会長：刈谷市に拠点がなく、定例会議は阿久比町で行われている。刈谷市内では展示会場として、とうふや豆蔵、社会教育センター、刈谷市美術館が予定される。

委員：控え目な申請金額である。ポラセンの事業に参画していただいたことがある。素敵な絵を子どもたちが描いており、代表者の人柄が表れる活動である。

委員：WAFCAとは？

部会長：WAFCA（アジア車いす交流センター）との関係について説明をいただけるとよい。

5) ふれあい泉田朝市会「ふれあい泉田朝市（こどもイベント）」

・プレゼンなし。

委員：事業名は前回と同じではないか。

事務局：H30「ふれあい泉田朝市」、H31「ふれあい泉田朝市活性化」、今回は「こどもイベント」と追加された。

委員：タイトルはこれまでと違う方が解りやすい。これまでにFG 依佐美ランナーズの提案内容を同じ活動と判断し不採択とした。活動が異なることは理解できたため、朝市ではなく、こどもイベントに光を当てて違いを分かりやすくしてもらおうとよかった。

事務局：要項3頁「団体として3回目以降の申請をお考えの際は、事前に市民協働課へご相談ください。」としており、事前相談に対応した。団体としての申請は3回目であるが、「こどもイベント」を2回目の事業として受理した。新しく団体を立ちあげて申請することもできると提案したが、団体の活動の一環であり、新たに立ち上げることは実態にあわないと判断された。

委員：質問の回答においては、分かりやすい資料をもって説明いただきたい。

事務局：こどもイベントは毎年2~3回開催しており、補助がなくても続ける予定である。補助金を活かしてできることを増やしていきたい意向である。

委員：楽しさが会員に伝わることで、地域の人たちから寄付を得るなど支援につながるとよい。

部会長：景品の購入、看板の設置費用が多く金額を占める。

事務局：ゲームの景品により、参加意欲に影響があるかもしれない。運営体制は、民生委員等を引退後、メンバーに加わられる方が多く、平均年齢は高い傾向にある。

委員：売上金5%から自己資金を得るとあり、資金獲得は着実に行われる。お金が集まらなくても、支出総額を抑えれば実施できるだろう。小垣江地区でも朝市を開催している。地元から資金支援を受けて運営するしくみが市内各地区へ広がったら、交流が深まってよい。ぜひ成功させてほしい。

部会長：来年以降補助がなくなった場合に、次につなげていくためのコメントをいただけるとよい。

委員：参加者60人とあるが、対象のこどもが60人程度か。申請額はもっと多くてもよかった。

事務局：最大80人の参加実績があり、平均して60人と聞いている。

NPO 法人設立支援 NPO 法人幸縁

事務局：今年度の取組を通じて刈谷での活動に広がりがある。市内小中学校3校との連携、デンソーや愛教大との連携、正会員数は16人、ボランティアスタッフ20人へと増やしながら活動を続けている。

委員：主な活動はグアテマラ支援であるため、刈谷市民の参加・理解につながる活動内容にと助言したこともあり、積極的に活動され、複数の学校や市内イベントなど（SUHARA MUSIC FES や車座集会に出演され、現地の子とオンライン交流した）で広く活動しており、前向きな取組に感心している。市内小中学校、高校、大学へのさらなる展開に期待する。

委員：刈谷北高は国際コースがある。

部会長：紙媒体のパンフレットが必要な理由は、市内の協働先を広げるために手渡しすることか。クラウドミーティングシステムの利用料はオンライン授業の際に活用されるか。

事務局：グアテマラのこどもと市内小中学校との交流授業で活用されている。

委員：現地のこどもが来日する。刈谷の人との交流にむけて、ボランティア募集が始まっている。センターにも来てもらえるよう声かけしている。

事務局：設立支援は2年目で最終年であるが、来年度まちづくり活動支援への申請は可能である。

部会長：本日意見交換した内容についてもプレゼンの際に理解が深まるよう質問していただきたい。

(3)まちづくり活動支援事業のプレゼン順について

■公平性に配慮するため、部会長が抽選を行い、プレゼン発表順を以下の通り決定した。

① SUHARA MUSIC FES 実行委員会
② 手品会
③ NPO 法人幸縁

(4)補助金採択事業の活動状況に関するアンケートの結果報告について

■資料4-1、4-2を用いて事務局が説明

- ・詳細結果を【資料4-2】、要点まとめと今後の検討事項を【資料4-1】で報告する。
(事業実施後の活動状況の把握)
- ・「縮小して継続」2件を合わせると4分の3が継続していることが確認できた。
- ・補助金を活用してよかったことでは、活動・団体の認知度が高まったが最も多く、担い手の力量が上がったなど人的な資源が豊かになったとする回答も多くあった。
(事業の継続・発展に必要な支援の検討)
- ・助成期間中の支援ニーズとして「広報・PR支援」が最も多いが、回答数は拮抗し、幅広い支援ニーズが確認された。
- ・助成期間終了後の支援ニーズとしては「資金調達の情報提供」が最も多く、今後の収入源は「寄付・会費・自主事業」のニーズが高い。このことから、外部資金に加え、継続的な支援者の獲得がポイントであり、それに向けた具体的な取組の検討が必要である。
(補助制度の見直し)
- ・運用上で工夫の余地があるものは、次年度の募集活動から実施を目指す。補助回数や補助率といった制度の見直しが必要なものについては、来年度1年間かけてヒアリング等を設けて部会長と相談しながら検討を進める。

■質問・意見交換

委員：これまでは補助終了後、団体がどうしているか掴めなかったが、結果のとおり、縮小したが続いているところが結構あり、夢ファンドが団体の活動を後押ししているよい制度であることが解った。休止・中止せざるを得ない団体の事情は把握しなければならない。今回見えるように示していただいてありがたかった。

委員：夢ファンドを活用した経験がある。コロナで止まったことに加え、それまでに人の入れ替わりもあり、金銭面だけでなく担い手不足にも対策が必要だと思う。例えば、ファンドレポートの取材の際に活動している人を紹介するようなしくみがあってもよい。他の団体とつなが

り、一緒に一つのことに取り組んだら、事業を軸にしたつながりが広がり、回数を重ねることです。いずれは市内で知らない人がいないような状態になるとよい。

部会長：人のつながりも団体にとって大きな財産となる。補助金事業の効果として募集要項等に掲載するのもよい。

委員：審査2年目。制度自体の周知について、知っている人は知っているという状況だと思う。申請事業は地域性を持った内容もあり、地域の中で認知され、活性化されればよいこともある。グアテマラのこどもたちの支援のように、今どきな交流の広がりも出てきた。取組の認知度、広がり方は活動内容によって幅広く考える必要があり、各々に応じた周知が大事である。

部会長：その地域に深く根付いて、住民が知っていればよい場合もある。

委員：主旨と目的に合致した成果をつくるきっかけに補助申請がなるとよい。審査を務める側としてもそうした視点をもって、良い悪いの基準を設けておくこと。少なからずいろいろな成果につながっていることが分かり良かった。

委員：地元の一ツ木地区「はっぴ祭り」で夢ファンドを活用されたことは、祭りに参加していても気が付かなかった。補助金を使って取り組んだことが分かるようになれば、広がっていく。

委員：夢ファンド自体を知らなければ、チラシに載っていても気づかないかもしれない。

部会長：PR周知は改善を重ねたい。運用面の改善は次年度募集から、補助率や回数など制度の改善は次年度の部会等で検討を行う。回数は政府の補助金でも3回としているものが多い。

3. その他

(1) 第3回夢ファンド部会(公開審査会)

【集合】令和6年1月13日(土)12時50分 刈谷市社会教育センター5階 502実習室

【公開審査会】同13時00分～16時20分 刈谷市民ボランティア活動センター
内、審議は、502実習室

(2) まちづくりびと補助金申請状況

- ・10月末時点、3名より申請があり、事務局審査により採択した。
- ・内容は3件とも「防災・減災カレッジ」研修への参加であった。